

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -3

4-  
-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
	節	.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	3 アクセスルートの管理及び整備 (市道)		事業主体	佐渡市建設課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体 佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業概要	【事業目的】 島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルートの管理及び整備を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。			
	【事業内容】 世界遺産登録による来訪者増等に対応した、島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルート(市道)の管理及び整備を行う。			
②9 事業計画と実績	【29年度計画】 島内の市道は6,788路線で約2,430kmとなっている。 管理について 市管理道路のパトロールは、1・2級市道の319路線(約510km)を対象に、当年度より年2回実施する。パトロールの視点としては、路面状況、安全施設や排水など付属施設のほか、落石などに対応するため、法面の変状などにも気を配って実施する。 整備について H29年度は、3路線において現道の拡幅工事を実施し、利用者の安全性と利便性の向上に努める。 また、橋梁点検の結果に基づき、緊急性の高い橋梁から修繕し安全確保に努める。			
	【29年度実績】 管理道路のパトロールは計画どおり行ない、各路線の路面状況等を把握し取りまとめた。 計画路線について拡幅工事を実施している。また橋梁修繕も実施している。			
課題・今後の取組	【課題】 管理について その他路線も含め、パトロール路線及び延長の再検討が必要である。 パトロールの結果に伴う路面等の修繕について、計画的に行なう必要がある。 整備について 現在着手している工事箇所を早期完成させることにより、利便性を高めることが必要である。			
	【今後の取組】 前年と同様に道路パトロールを確実に実施し、道路利用者の安全確保に努めるとともに、必要な箇所への対応を確実に実施するよう努める。			
事業評価	【事業の達成度】 ( a (b) c ) 市管理道路のパトロールは確実に実施され、今後も見直しを図りながら実施していく。 道路 の整備は時間がかかるが、着実に進捗させている。			
	【事業実施の効果】 ( a (b) c )			
	【総合評価】 ( A (B) C )			

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。